

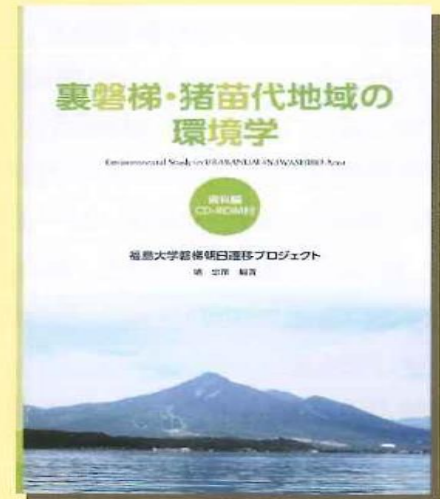
## ◆書籍紹介◆

### 福島大学磐梯朝日遷移プロジェクト(塘 忠顕 編著) 裏磐梯・猪苗代地域の環境学 (福島民報社 2016年3月)

本書は、福島県中央部に位置する裏磐梯・猪苗代地域の環境調査結果を取りまとめたものである。2010年から2015年までの6年間、福島大学共生システム理工学類のメンバーが中心となって実施された研究が収録されている。それぞれの成果は時間軸で整理されており、古環境・古生態の解析から始まり、現状と実態の把握、自然環境・生物多様性の将来変化へとつながっている。

あとがきで述べられている通り、本書は裏磐梯・猪苗代地域を「俯瞰」するものである。これは、前述の異なる時間軸で解析することを意味するほか、生態・地質・化学・水文といった異なる分野の手法を用いて同地域を解析するという意味も含んでのことであろう。その点で、福島県の環境を包括的に理解するために欠かせない一冊といえる。

本書は、理系の読者であれば読み解くことができる内容となっており、まずは自身の専門に近い分野から読み進めるのがよいと思う。そこから少しずつ関連分野の成果へと広げていくことで、読者自身の「裏磐梯・猪苗代学」を構築することができるはずである。研究経験が豊富な方に対しては、自身の専門とは異なる分野では同じ地域に対してどのようにしてアプローチするのか、その方法を知ることができる。新しい研究のシーズを探している研究者はもちろん、理系の学類生や地域の研究に興味のある読者には一読をおすすめする。



(共生システム理工学類 講師 吉田龍平)